自分たちのまちは自分たちで守る

自主防災組織と自主防災訓練

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識に基づいて、地域住民が自主的に連携して防災活動を行う組織のことをいいます。全国に約11万団体あり、市内では174団体が活動しています。平常時には、防災訓練や防災資機材の点検などを行っています。

毎年、市内2地区で自主防災訓練を実施しており、今年度は八雲・下島地区および八雲東地区で訓練を行いました。

八雲・下島地区は令和6年10月27日、八雲東地区は令和6年11月10日にそれぞれ行い、避難誘導訓練・各種体験型訓練・資機材展示などを通して、災害発生時における行動の在り方や災害発生前の備えについて考える良い機会となりました。

枚方土木事務所による説明

心肺蘇生訓練

自衛隊による資機材展示

水消火器訓練

防災フォーラムに参加しませんか

能登半島地震から学ぶ防災フォーラム in 守口市

「能登半島地震の被災地での現地活動」をテーマに、より実際の状況を想定した具体的な防災ノウハウと、市民や企業・団体が取り組むべき防災施策について紹介します。

また、能登半島地震で起きた教訓や、守口市の災害時における取り組みなどの情報を共有します。

災害による被害を最小限にするために、自身や地域でできることを知り、活動に役立てるきっかけにしませんか。

内 公民連携による防災フォーラム（セミナー）
時 1月17日（金）19:00～20:00
場 市役所1階会議室103・104
対 防災・減災に関心のある人、自主防災組織や自治会の担当者、自主防災活動に興味のある人
定 先着100人（要事前予約）
備 COMMON株式会社、一般社団法人地域活性化プロジェクト縁GIN主催
申 1月10日（金）までに電話
問 危機管理室
TEL 06−6992−1497

1/17 能登半島地震から学ぶ防災フォーラムin守口市

能登での現地活動を通じて、自身でできることや地域でできることを知り、活動に役立てるきっかけ創り。

①能登半島地震での現地での活動を通じ、実体験の講話
②これから準備しておくコト・モノ ③市役所からの相談・報告
④各校区での防災実証実験（イベント型）の提案

南海トラフ地震・首都直下地震をはじめとする大きな災害が、そう遠くない未来に発生すると言われている中、不安を感じている方も多いのではないでしょうか？災害大国日本に住んで、大きな災害は無いに越してもおかしくありません。
いざ災害に直面した時、自分達や周りの命を守る強さ力ができていますかいざという日に備えて、どこまで準備を完成した状況ができていますか？
今回は能登半島をモチーフ・テーマに、実際での現地活動、セミナーで、より実際の状況を想定した具体的な防災ノウハウと、市民や企業・団体が取り組むべき防災施策について紹介します。災害による被害を最小限にするための方法を学びます。
実際の能登半島で起きた教訓を共有、また今回のポストとなる守口市の防災に対する取り組みなどの情報を共有します。

日　時：2025年1月17日(金)19:00～20:00
場　所：守口市役所内会議室103・104
内　容：公民連携による防災フォーラム（セミナー）
参 加 費：無料（申込必要）定員：先着100名（要予約）
対　象：①防災、減災に関心のある市民の方 ②自主防災組織や自治会の担当者 ③自主防災活動に興味のある方

申し込み：TEL.06-6992-1497 守口市危機管理室
締　切：2025年1月10日(金曜日)

主催：COMMON株式会社、一般社団法人地域活性化プロジェクト縁GIN　協力：守口市

防災士資格取得を補助します

近年多発化する災害への対応を講じるためには、災害に関する知識と防災に対する強い意欲を併せ持った者を養成し、地域における防災力を向上させることが重要であることから、市内自主防災組織に所属する人を対象として、防災士資格取得のために必要な費用を補助しています。

補助金額や交付対象者、申請方法については市ホームページをご覧ください。

防災士とは？

「自助」「共助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識と技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人のことです。

防災士資格取得者の声

防災士の講座を受ける中で、災害の仕組みや発生リスク、これまでに起きた災害での被害状況などを学べました。防災士を目指していない人にも知ってもらいたい内容だと感じました。

また、講座や救命講習といった防災士資格を取得するためのプロセスが役に立ちました。防災に関して地域でもいろいろとチャレンジしていきたいです。

避難場所を確認しておきましょう

自宅近くの指定避難所・避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。また、いざというときの家族同士の待ち合わせ場所や連絡方法など、家庭内で防災について話し合っておきましょう。

指定避難所・一時避難場所・広域避難場所一覧

指定避難所

番号	名称
1	庭窪中学校
2	庭窪小学校
3	佐太小学校
4	藤田小学校
5	金田小学校
6	梶小学校
7	よつば小学校
8	大阪国際大学
9	大久保中学校
10	梶中学校
11	児童センター
12	東部エリアCC
13	東部エリアCC よつば未来体育室
14	第一中学校
15	守口小学校
16	八雲小学校
17	八雲東小学校
18	西部CC
19	八雲中学校
20	守口東高校
21	芦間高校
22	淀川工科高校
23	樟風中学校
24	寺方南小学校
25	さくら小学校
26	大阪電気通信大学高校
27	さつき学園
28	南部エリアCC体育室
29	大阪国際中学校高等学校 体育館
30	錦小学校
31	錦CC
32	錦中学校

一時避難場所

番号	名称
1	佐太中央公園
2	金田第2公園
3	藤田公園
4	金田公園
5	大日南公園
6	梶第1公園
7	大久保中央公園
8	よつば未来公園
9	日吉公園
10	松月公園
11	関西医科大学総合医療センターホスピタルガーデン
12	土居公園
13	たきい公園
14	大宮中央公園
15	菊水公園
16	南わくわく公園

広域避難場所

番号	名称
1	淀川河川公園
2	鶴見緑地
3	大枝公園

指定避難所

大地震や家屋の大規模損壊、浸水やその恐れがあるとき、避難する市民が過ごせる場所。

市内の学校や公共施設などを指定しています。

一時避難場所

市内の比較的大きな公園で、地震や火災などで市民が避難できる場所。

広域避難場所

市内で最も大きな公園で、地震や大規模災害の延焼などの際に、多くの市民が安全確保のため、一時避難できる広域な場所。